

SFT
未来会議～愛知・名古屋 2026 大会を契機とした
スポーツ国際交流・協力の実践とこれから～愛知・名古屋 2026 大会を一つの契機に、さまざまな実践や経験を共有しながら、
スポーツを通じた国際交流・協力の意義やこれからをともに考えます。

国際交流・協力



多文化共生



レガシー



連携・共創

2026年

9月27日 日

13:30-16:30

(受付開始 12:30)

会場

JICA中部 なごや地球ひろば

〒453-0872 愛知県名古屋市中村区平池町4丁目60-7

形式

対面開催 (参加費無料)

言語

日本語

定員

100名程度 (招待50名/一般50名) ※先着順

対象

スポーツを通じた国際交流・協力、多文化共生等に関心のある団体・個人 (自治体、スポーツ団体、企業、大学・研究機関、NPO・NGO、国際交流団体、学生・ユース等)

プログラム (予定)

13:30-13:40

▶ オープニング

河合 純一 氏 (スポーツ庁長官)

13:40-14:05

▶ 第1部:基調セッション

「スポーツを通じた国際交流・協力と共生社会
ー研究と実践から捉える大会レガシー (仮)」

・ 寺田 恭子 氏

桜花学園大学 教育保育学部 教授/

アジア車いす交流センター (WAFCA) 理事長

・ 三阪 洋行 氏

日本パラスポーツ協会 日本パラリンピック委員会委員長、

愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会

アスリート委員会副委員長

14:05-14:10

▶ SFTユースメディアプログラム 活動紹介

ユースレポーターの取材・発信活動について紹介します。

14:10-14:40

▶ 第2部:パネル展示・発表

SFTC会員や関係団体など計21団体による取組紹介・発表
を行います。

※ 出展団体の詳細は、SFT公式HPをご覧ください。

14:40-14:55

ー 休憩・会場転換 ー

14:55-16:20

▶ 第3部:事例紹介・トークセッション

「実践から考える、スポーツ国際交流・協力と多文化共生のこれから」
愛知・名古屋2026大会を契機に、実践者の事例から、意義や今後の
展望を考えます。

・ 三阪 洋行 氏 (日本車いすラグビー連盟)

・ 遠藤 謙 氏 (株式会社Xiborg)

・ 服部 沙織 氏 (美浜町)

・ ヴァスナニ・ジョティ・ヴィノド 氏 (美浜町)

・ 菊地 友輝 氏 (JICA海外協力隊/ラオス/柔道)

<ファシリテーター>

・ 坂口 麻衣 氏 (日本ラグビーフットボール協会)

16:20-16:30

▶ クロージング

上町 透 氏 (JICA中部センター 所長)

※ プログラムは変更となる場合がございます。

事前登録制 (先着順)

お申込みはこちら



申込締切: 2026年9月24日 (木) 12:00まで

※ 最新情報は公式サイトをご確認ください。

<https://www.sport4tomorrow.jpnsport.go.jp/jp/news/invited/sftfuture/>

SFT未来会議



主催

スポーツ・フォー・トゥモロー・

コンソーシアム事務局

(独立行政法人日本スポーツ振興センター)

共催

独立行政法人 国際協力機構 (JICA)

協力

愛知県、名古屋市、

公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ

競技大会組織委員会 (AINAGOC)

お問い合わせ

スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム事務局 (JSC内)



sft.info@jpnsport.go.jp



03-6804-2776